

尋

憲

記

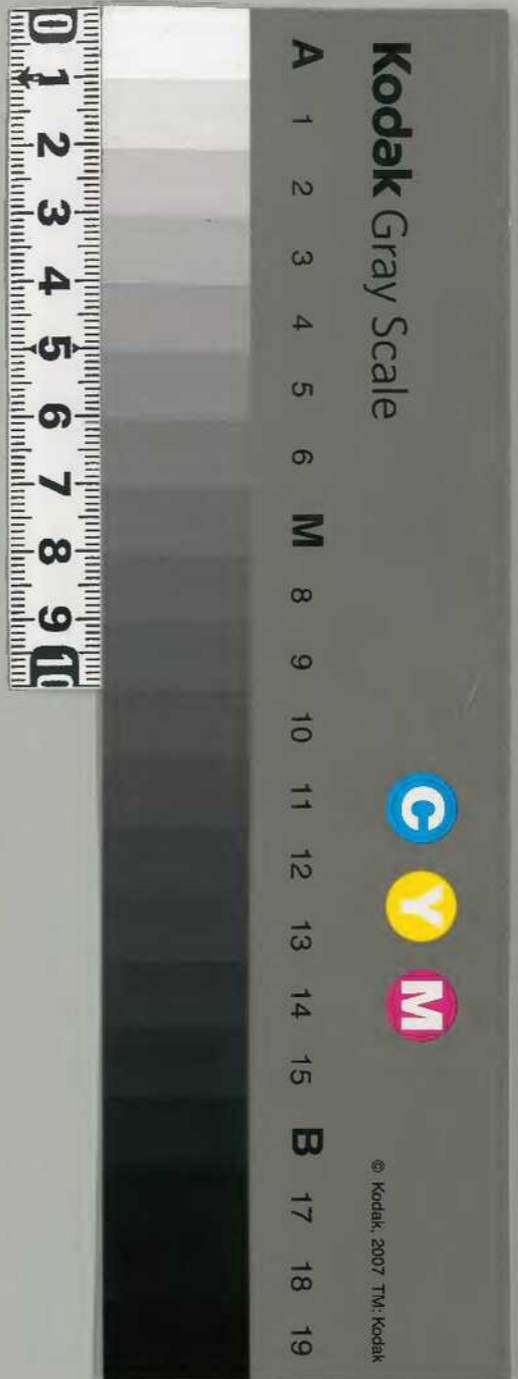
六

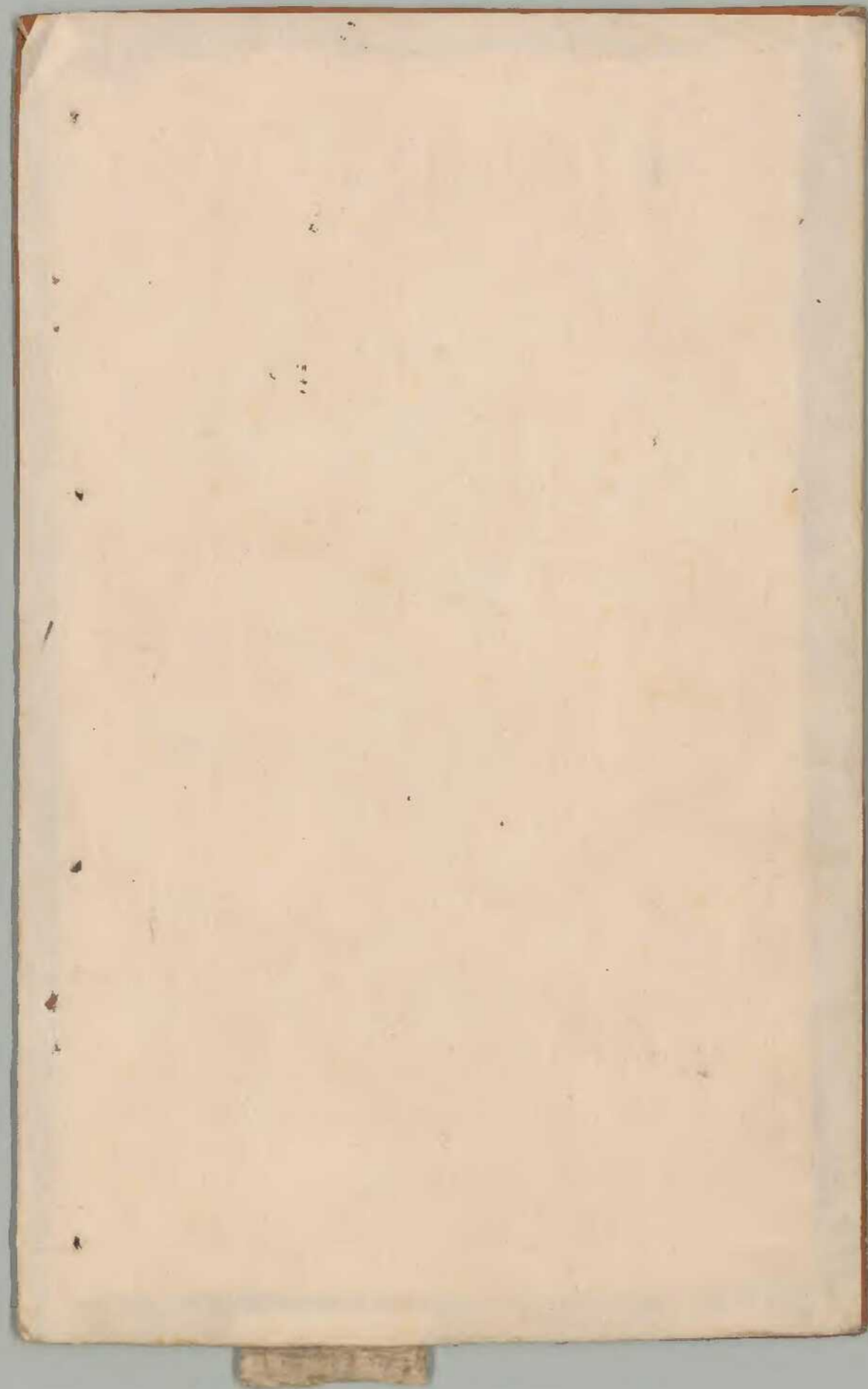
庫文閣内			
大			和
四			書
函	三		
	二		
架	冊	號	類

内閣文庫	
番號	和 20931
冊數	12 (6)
函號	古 22 366

書文古	
三	二函共三
六	
六	
號	

尋憲記大





第三
元龜三年癸未七月日

二九六共十一

後七月朔日至拾月晦

大業



治世を以て宗祖の徳を以て世に傳へるは孝の用也
中より下を以て宗祖の徳を以て世に傳へるは孝の用也
中より上を以て宗祖の徳を以て世に傳へるは孝の用也
中より下を以て宗祖の徳を以て世に傳へるは孝の用也
中より上を以て宗祖の徳を以て世に傳へるは孝の用也

古くより

孝の用也

しは世に傳へるは孝の用也
しは世に傳へるは孝の用也
しは世に傳へるは孝の用也
しは世に傳へるは孝の用也
しは世に傳へるは孝の用也

一 孝の用也

五日

一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也

一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也

一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也

一 孝の用也

六日

七日

一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也
一 孝の用也

十八日

一川合、ツケ、陽、若、尾、り、江、取、り、其、家、元、野、と、違、う、う
よ、う、う、ニ、ア、ア、ア、リ、書、ハ、ウ、れ、と、し、り、如、し、二、ツ、林、の、二、夜
三、ツ、ツ、二、一、と、ハ、わ、れ、ん、中、し
一、ツ、ト、リ、中、防、る、揚、え、中、は、え、り、キ、ト、え、お、初、と

十九日

廿日

一、^{十、九、日、の、}年、初、揚、中、内、元、長、あ、ら、る、あ、り、日、と、一、モ、才、急、直、注、師
自、あ、ら、外、の、と、ア、人、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中、を、は、え、り、揚、中
二、ト、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中
揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中

廿一日

廿二日

一、^{十、九、日、の、}年、初、揚、中、内、元、長、あ、ら、る、あ、り、日、と、一、モ、才、急、直、注、師
自、あ、ら、外、の、と、ア、人、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中
二、ト、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中、を、あ、ん、あ、り、揚、中

廿三日

廿四日

廿五日

廿六日

万々又 陽印の巻序

陽印の巻序

一 養正部凡、始るべき事なり

治事と云ふは、先づ其の治事、
此の和を治す事、
二つありし、
此の和を治す事、
此の和を治す事、

下りし

後

小ま又 養正部凡

陽印の巻序

一 陽印の巻序、
十、
内、

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

可二部の

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

一 此の四圍は野原 着るものせいで高下ありて草むら

又此の洞令戸高き程は月日ありて又荒れ果てた所ありて
此の洞の西の程は石壁ありて水溜りありて草むらありて
此の洞の東の程は石壁ありて水溜りありて草むらありて
此の洞の南の程は石壁ありて水溜りありて草むらありて
此の洞の北の程は石壁ありて水溜りありて草むらありて
此の洞の西の程は石壁ありて水溜りありて草むらありて
此の洞の東の程は石壁ありて水溜りありて草むらありて
此の洞の南の程は石壁ありて水溜りありて草むらありて
此の洞の北の程は石壁ありて水溜りありて草むらありて

上は若尾の入り口より西の程ありて洞の入り口ありて

上は 甚なり

洞入り 甚なり

一 宮内中納言 十六日

十七日

一 福列 十八日

一 延喜式 十九日

一箇并九島にありて之を督督と云ふ事なり其の事は
寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり
是れ相討りて之を討つた事なり其の事は
寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

廿七日

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

廿九日

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

九月朔日

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

一可也... 寛永十年三月に於て相討りて之を討つた事なり

廿日

廿日

一 淨法蓮、物盡更來中、只身可也、
 一 四并美化、今之傍用、
 一 百早板之、勿志所送、
 一 一、
 一 十、
 一 祇、
 一 任、

廿日

廿日

廿二日

一 一、
 一 一、
 一 一、

廿三日

一 一、
 一 一、
 一 一、

廿四日

一 一、
 一 一、
 一 一、

Handwritten Japanese text on a vertical strip of aged paper. The text is written in cursive (sōsho) style. The main text is arranged in a central column, with some characters appearing to be '未' (mi), 'の' (no), 'り' (ri), '林' (rin), 'の' (no), '人' (nin). To the right of this central column, there is a smaller vertical inscription that reads '21 挿入' (21 Insertion). The paper shows signs of age, including some staining and a small tear at the top right corner.

倭の事
今
又
五

右ノ事
高門跡

所奉行中

林休源守
秀貞判

十月朔日

一 播磨仁王権佐所地跡
一 一ノ山(山名) 〇〇〇〇

二月

一 備前ノ事

凡ノ事

此高門跡ノ地ノ権佐所ノ地跡ノ事
後ノ地跡ノ代ノ地跡ノ事
後ノ地跡ノ代ノ地跡ノ事

〇

此高門跡ノ地ノ権佐所ノ地跡ノ事
後ノ地跡ノ代ノ地跡ノ事
後ノ地跡ノ代ノ地跡ノ事

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

世傳の如き先代寫字を以て其の一二見れば其の如き
石本様は其の如く下致押在りて之層の如く其の如き其の如
可致するものなり之の如く下致押在りて其の如く其の如
其れ早き其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如
此中其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く

十一
下

抄

相国若菜氏

是の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く

其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く

十一
下

抄

若菜氏

上
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く

九日

一 亥座庄跡

一 三國古村跡

言れど能く言えぬは美事成りたるなりき居居地跡に
り無けりてくる事ありて是れ一長有るは古跡なり
四邊より見ると古跡ありて是れ一長有るは古跡なり
と云ふなり

控月旦の古跡

梅智作

梅智作

此所地跡にありて是れ一長有るは古跡なり
月旦と云ふは古跡なり

三國古村跡

梅智作

此所地跡にありて是れ一長有るは古跡なり
三國古村跡にありて是れ一長有るは古跡なり
梅智作

一 高井の三國一り跡

此所地跡にありて是れ一長有るは古跡なり
高井の三國一り跡にありて是れ一長有るは古跡なり

先河安有... 推し... 高井... 功奉

一 高井... 又... 下... 一 高井... 又... 下... 一 高井... 又... 下...

一 高井... 又... 下... 一 高井... 又... 下... 一 高井... 又... 下...

一 高井... 又... 下... 一 高井... 又... 下... 一 高井... 又... 下...

うぬぼつぬあてはしとて

十のりしちり

後多れん

揚中

若年

只かへ戸振るをわたり者... 糸字方子田とを... して... 糸字方子田とを... 糸字方子田とを... 糸字方子田とを...

一打をみる... 下は... 糸字方子田とを...

材を... 糸字方子田とを... 糸字方子田とを... 糸字方子田とを...

ちりしちり

後多れん

のりしちり

一若... 糸字方子田とを... 糸字方子田とを... 糸字方子田とを...

一 漢石采拾抄類不名に押出見らぬ抄本
一 序
漢唐以上を西漢書に下して述り戸定知りぬる文
漢唐書之序
一 小田原系書類に在り香燭に
仁賢の徳を南朝之校定に方自力戸定に
一 漢列の徳を定候事一 序中を述り戸定に
一 漢の徳を定候事一 一 漢并 十部
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中

一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中
一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中

一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中

十月 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中

一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中

一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中

一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中

一 漢系抄本 漢唐以下 書本并 序中

志之... 向... 建...
... 者... 中... 集...
... 之... 中...

揚中者序反

法中系

上之通... 内... 法...
... 下... 法... 中...

揚中者序反

法中系

一... 揚中者序反

志之... 向... 建...
... 者... 中... 集...
... 之... 中...
... 揚中者序反
... 法中系

揚中者序反

法中系

二十日白り仕事常素おはし海

祓りぬす本口ははるぬ中ちてははぬかひの山
る指代ぬふて存津意執儀一主の指方おはす

十時一ツツ

福あけな

おき入 南はるる

福あけな

福あけな

十時書讀

長途

一 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな

一 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな

廿二日

一 月夜燈合しこ ぬすりかゝる 二袋中ト籠合しこ

一 仁と徳信禱百部とる所丸

一 仁と徳信禱百部とる所丸 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな

一 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな

一 世様りートラセ

廿三日

一 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな

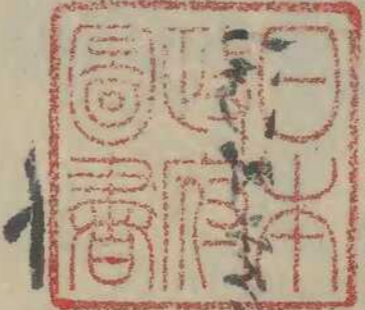
一 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな

一 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな

一 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな

一 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな 福あけな

221



Handwritten characters in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten characters in cursive script, possibly a name or title.

Main body of handwritten text in cursive script, arranged in vertical columns.



紙數四拾四枚



